1-BIT THEATER SYSTEM

1ビットデジタルシアターシステム

形名 SD-AT50（エス ディー エー ティー）

取扱説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、**「安全に正しくお使いいただくために」**を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができるところに必ず保存してください。

もくじ

1章 はじめに

2章 準　備（お使いの前に）

3章 基　本（すぐに楽しむ）

4章 応用（その他の操作）

5章 参考

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

この製品は米国DTS社からの実施権に基づき製造されています。合衆国特許No.5,451,942, 5,956,674, 5,974,380, 5,978,762。海外特許申請中。
「DTS」および「DTSデジタルサラウンド」はDTS社の登録商標です。
著作権 1996年、2000年 DTS社。不許複製。

おもな特長

高解像度サウンドを実現する

1ビットデジタルアンプ技術を採用！

1秒間に約280万回（約2.8MHz）の高速サンプリングにより、音の分解能力を飛躍的に向上。音の伝送／増幅を1ビットデジタル信号で行い、音の立ち上がりや滑らかさを高品位に再現するほか、アナログ信号での処理に比べ音質劣化の少ないクリアな音質を実現します。

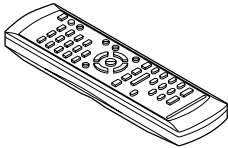
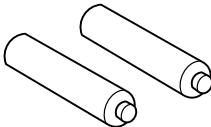
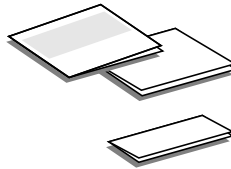
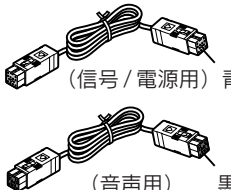
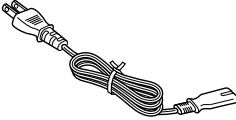
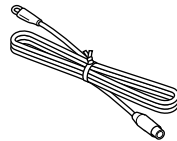
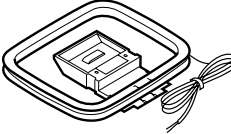
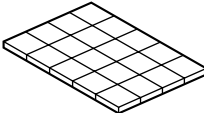
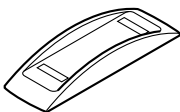
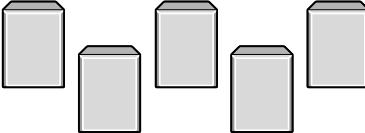
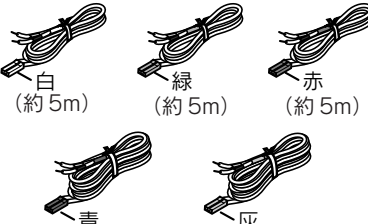
1ビット5.1chデジタルアンプの搭載で

高音質＆300Wの大迫力を再現！

総合300W（50W×6ch）の1ビットデジタルアンプにより、映画や音楽を歯切れの良い臨場感あふれるサウンドで楽しめます。

いろいろなサラウンド方式を再現する

各種デコーダーを搭載！

高音質再生が可能なDTSサウンドや、TVの地上波放送やビデオテープ／CDなどのステレオ信号を5.1chで楽しめるドルビープロロジックII デコーダーなど、各種のデコーダーを装備しています。

コンパクトなニュースタイルで

インテリアを演出！

縦置き可能なコンパクトデザインで、スリムな液晶テレビにもマッチするニュースタイルを実現しています。

付属品について

付属品がすべてそろっているか、お確かめください。

リモコン送信機×1	単3乾電池×2（リモコン送信機用）	取扱説明書（本書）×1 接続と配置図×1 保証書×1	システム接続用コード×2
電源コード×1	FM用アンテナ×1	AM用ループアンテナ×1	サテライトスピーカ用すべり止めシート×20
スタンド×1	サテライトスピーカー×5	スピーカーコード×5	

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ 注意	けがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

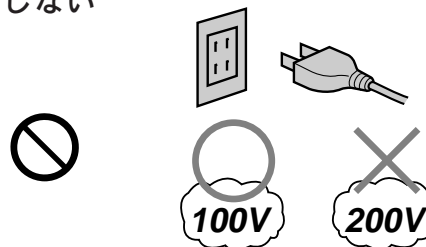
この記号は **気をつける必要がある** ことを表しています。

この記号は **してはいけない** ことを表しています。

この記号は **しなければならない** ことを表しています。

⚠ 警告

電源について

AC100V 以外の電源電圧では使用しない

火災・感電の原因となります。

外国では使用しない

この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用しないでください。
(This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.)

雷について

雷が鳴りだしたら…
安全のため、製品にさわらないでください。

感電の原因となります。

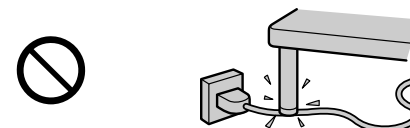
電源コードについて

付属以外の電源コードは使用しない

火災・感電の原因となります。

タコ足配線はしない

発熱により、火災の原因となります。

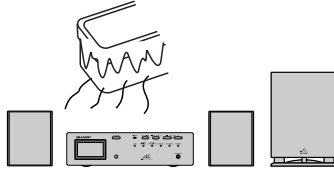
コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、重い物を乗せたりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

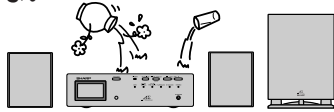
電源コードが傷ついたときは…
販売店に交換をご依頼ください

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

内部に物や水などを入れない

風呂場や雨にあたるところ、湿気の多いところでは使用しない

火災・感電の原因となります。

近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ると、火災・感電の原因となります。

開口部（スピーカーダクトなど）から金属類や燃えやすい物などを入れない

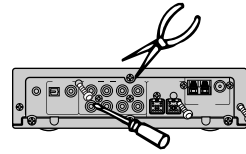
火災・感電・けがの原因となります。
特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

内部に水や異物などが入ったときは…

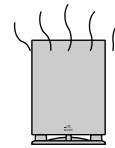
電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

キャビネットについて

キャビネットを開けたり、改造しない

火災・感電・けがの原因となります。
内部の点検･調整･修理は販売店にご依頼ください。

高温部への接触について

使用中は、内部から発生する熱により、サブウーハー / アンプユニット表面が熱くなります。

長時間触れていると、やけどの原因となることがあります。
特にお子様のいる家庭ではご注意ください。
また、長時間使用するときは、放熱に注意してください。（☞ P.16 ～ 17）

異常が起きたら

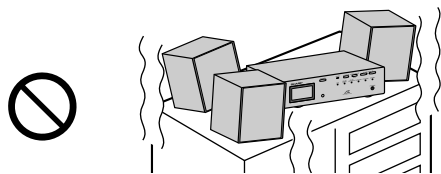
万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは…

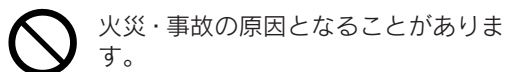
電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

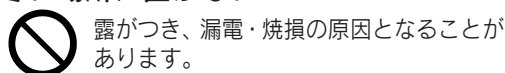
異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

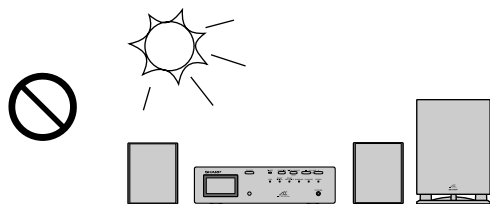
⚠注意

置き場所について

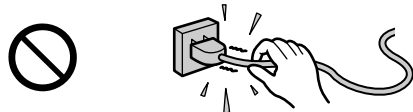
不安定な場所に置かない

落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

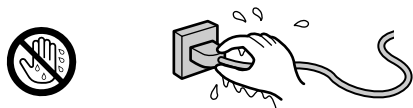
油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・事故の原因となることがあります。

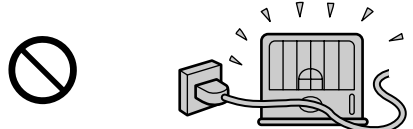
冷気が直接吹きつけるところや、極端に寒い場所に置かない

露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない

火災・事故の原因となることがあります。

電源コードの取り扱いについて

プラグを抜くときはコードを引っぱらない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

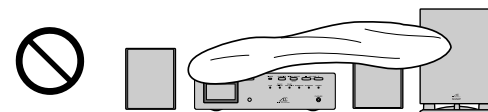
濡れた手でプラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

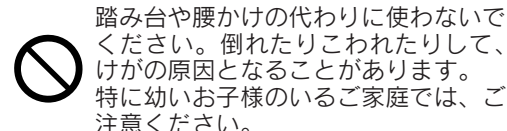
電源コードを熱器具に近づけない

コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

コンセントへの差し込みがぐらついていたり、プラグやコードが熱いときは使用を中止してください

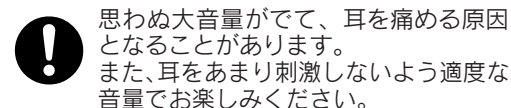
火災・感電の原因となることがあります。

ご使用について

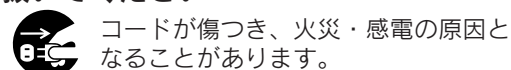
風通しの悪い状態で使用しない また、布や布団でおおったり、つつんだりしない

熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

製品の上に乗らない

踏み台や腰かけの代わりに使わないでください。倒れたりこわれたりして、けがの原因となることがあります。
特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。

ヘッドホンで聞くときは

音量の設定に十分気をつける

思わぬ大音量がでて、耳を痛める原因となることがあります。
また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

移動するときは

電源を切り、電源コード・接続コードを抜いてください

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

機器の接続について

他の機器を接続するときは、指定のコードをお使いください。

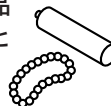
テレビなど

本体

接続するときは、必ず電源を切り、他の機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
また、付属のコードや指定以外のコードを使用すると、故障の原因となります。

乾電池の取り扱いについて

乾電池は誤った使いかたをしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。また、液もれをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因にもなります。次の点に特に注意してください。

- **新しい乾電池と一度使用した乾電池をまぜて使用しない**
- **金属小物（かぎ・装飾品ネックレス・コイン等）といっしょにポケットやかばんなどに入れない**
- **水に濡らさない**
- **加熱したり、火の中へは絶対に投げ込まない**
- **分解しない**
- **ハンダ付けしない**
- **端子をショート（短絡）させない**
- **種類のちがう乾電池をまぜて使用しない**
- **充電池（ニカド電池等）は使用しない**

- **乾電池が使えなくなったり、長い間使わないときは、乾電池を全部取り出しておいてください。**

- **乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを、表示どおり正しく入れてください。**

もし、液がもれた場合は、リモコンについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

お手入れのときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください

感電やけがの原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください

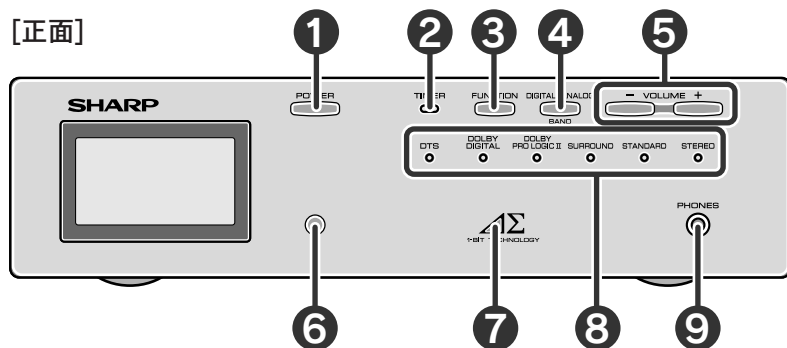
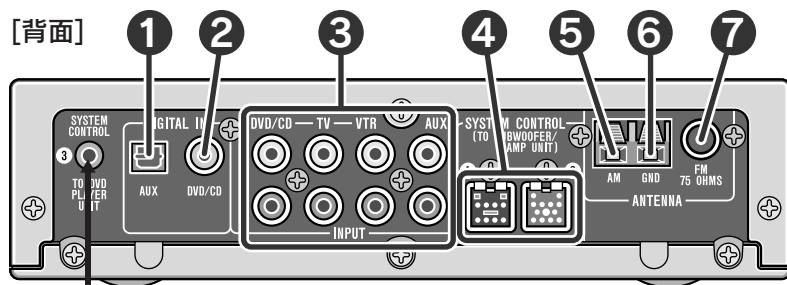
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。（☞ P.39）
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

各部のなまえ

AV コントロールユニット

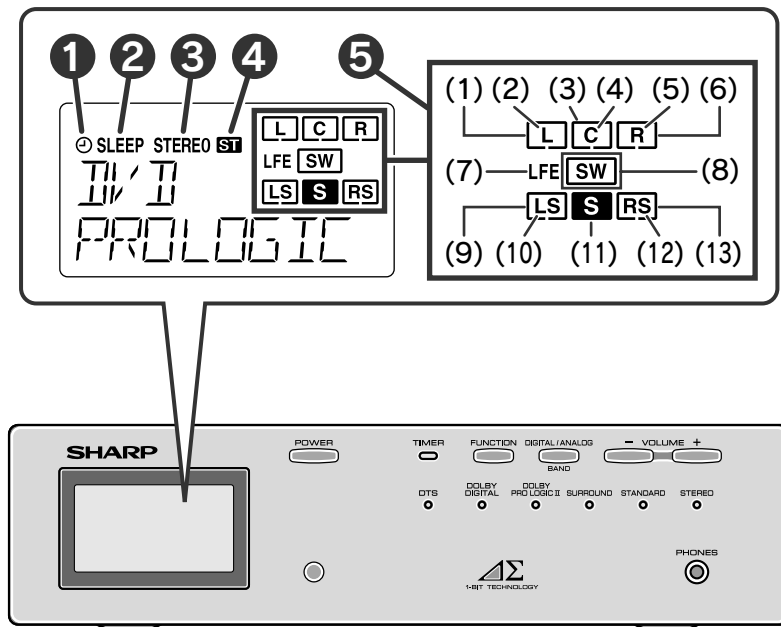
[正面]

参照ページ

❶ 電源ボタン（POWER） .... 19、36
❷ タイマー設定表示（TIMER） 31
❸ 入力切換ボタン（FUNCTION） .... 21、22
❹ デジタル / アナログ / バンド入力切換ボタン
（DIGITAL/ANALOG/BAND） .... 21、22
❺ 音量調整ボタン（– VOLUME +） 21
❻ リモコン受信部 19
❼ 電源表示 19
❽ サウンドモード表示ランプ
（DTS/DOLBY DIGITAL/DOLBY PRO LOGIC II/SURROUND/
STANDARD/STEREO） .... 25、26
❾ ヘッドホン端子（PHONES） 15

[背面]

SD-AT50DV をお買い求めの場合のシステムコントロール端子です。（この製品では使用しません。）

参照ページ

❶ 光デジタル音声入力端子（DIGITAL IN AUX） 15
❷ 同軸デジタル音声入力端子（DIGITAL IN DVD/CD） 14
❸ 音声入力端子（DVD/CD, TV, VTR, AUX INPUT） ...... 14、15
❹ システム接続端子（サブウーハー / アンプユニット）
（SYSTEM CONTROL TO SUBWOOFER/AMP UNIT） 12
❺ AM アンテナ端子（AM） 12
❻ アース端子 12
❼ FM アンテナ端子（FM 75 OHMS） 12

[表示部]

❶ タイマー再生表示

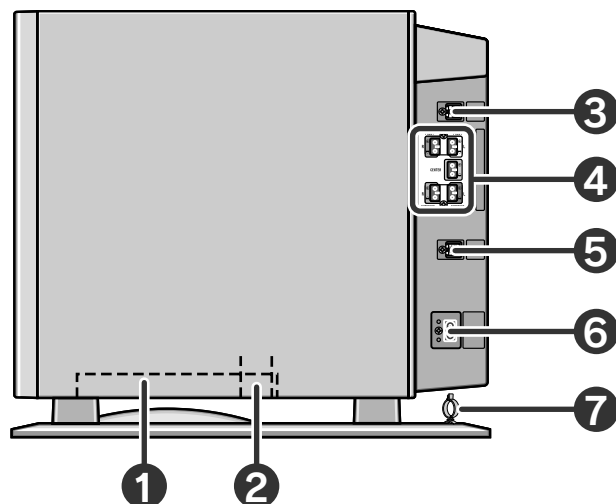
❷ スリープ再生表示（SLEEP（スリープ））

❸ FM ステレオモード表示（STEREO（ステレオ））

❹ FM ステレオ受信表示（ST）

❺ 音声信号表示 / スピーカー表示

(1) フロントスピーカー「左」表示
(2) フロント「左」信号表示
(3) センタースピーカー表示
(4) センター信号表示
(5) フロント「右」信号表示
(6) フロントスピーカー「右」表示
(7) LFE「低域効果」信号表示
(8) サブウーハー表示
(9) サラウンドスピーカー「左」表示
(10)サラウンド「左」信号表示
(11)サラウンド「モノラル」信号表示
(12)サラウンド「右」信号表示
(13)サラウンドスピーカー「右」表示

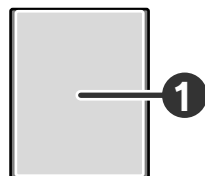
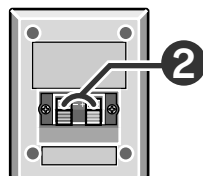
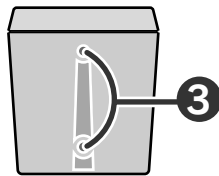
各部のなまえ（続き）

サブウーハー / アンプユニット

[側面]

参照ページ

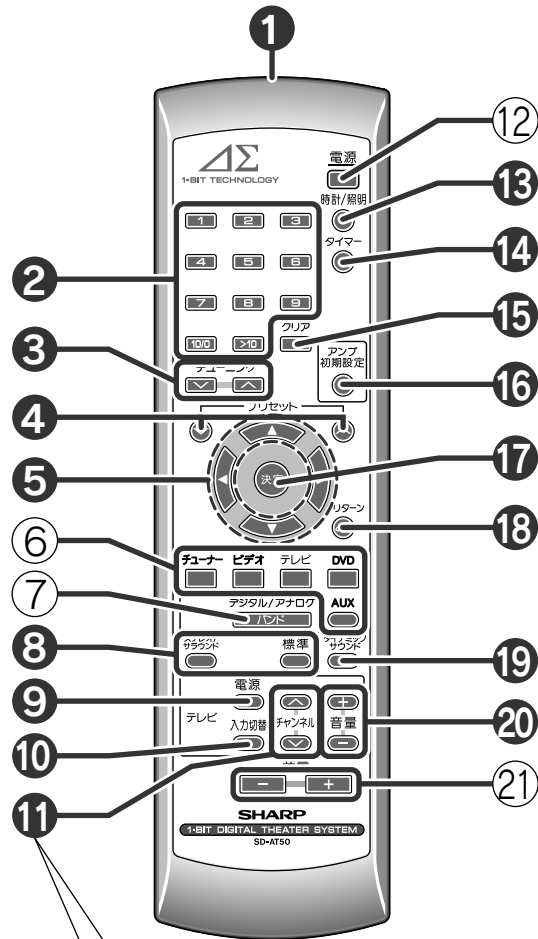
サテライトスピーカー× 5

フロント× 2：防磁設計
センター× 1：防磁設計
サラウンド× 2：防磁設計

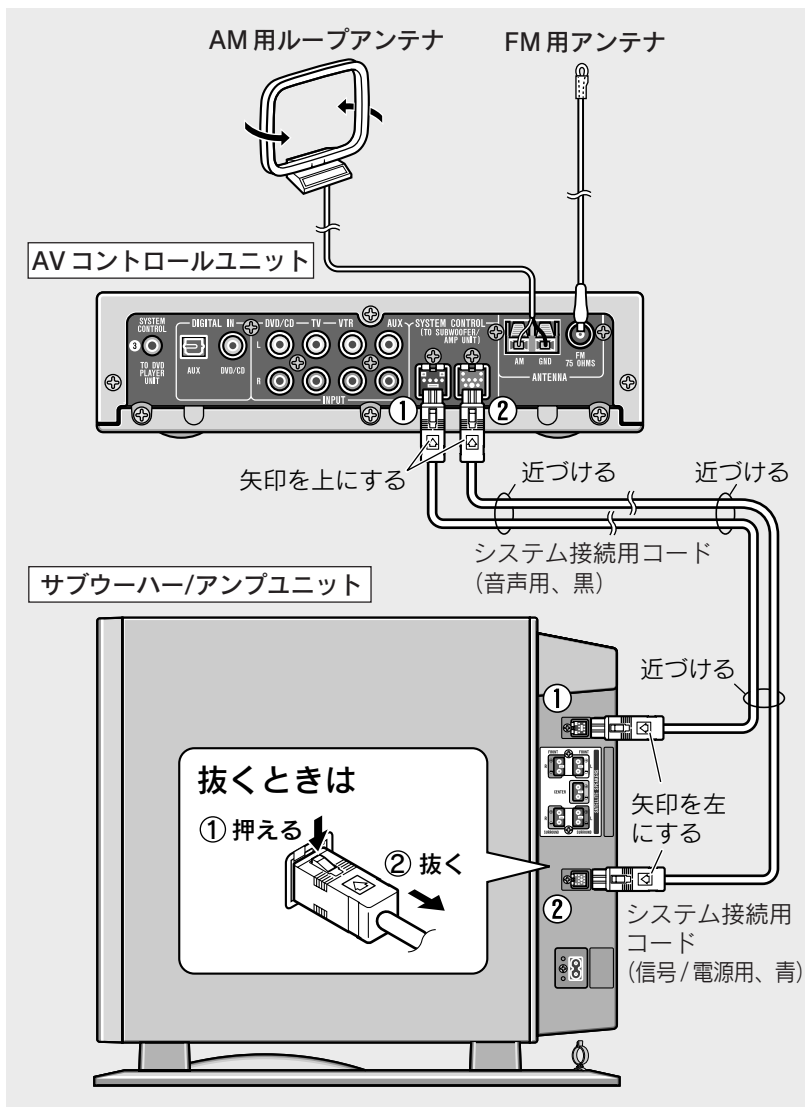
[正面]　[背面]　[底面]

参照ページ

リモコン

●は、リモコンだけの操作ボタンです。

参照ページ

- ❶ **リモコン送信部** 19
- ❷ **数字入力ボタン** .... 23、27
- ❸ **チューニングボタン**（∨チューニング∧）.................... 22
- ❹ **チューナープリセットボタン**
  （∨プリセット∧）.................... 23
- ❺ **カーソルボタン**（◀、▶、▲、▼）.................... 20、28
- ⑥ 入力切換ボタン
  （チューナー、ビデオ、テレビ、DVD、AUX）.................... 21、22
- ⑦ デジタル/アナログ/バンド入力切換ボタン
  （デジタル/アナログ/バンド）.................... 21、22
- ❽ **サウンドモード切換ボタン**
  （ステレオ/サラウンド、標準）.................... 26
- ❾ **テレビ電源ボタン** .... 27、34
- ❿ **テレビ入力切替ボタン** 34
- ⓫ **テレビチャンネル切換ボタン**
  （∨チャンネル∧）.................... 27、34
- ⑫ 電源ボタン 19
- ⓭ **時計/照明ボタン** .... 19、20
- ⓮ **タイマーボタン** 30
- ⓯ **クリアボタン** 23
- ⓰ **アンプ初期設定ボタン** 28
- ⓱ **決定ボタン** .... 20、28
- ⓲ **リターンボタン**（↶）.................... 29
- ⓳ **ダイナミックサウンド切換ボタン** 26
- ⓴ **テレビ音量調整ボタン**（−音量+）.................... 34
- ㉑ 音量調整ボタン（−音量+）.................... 21

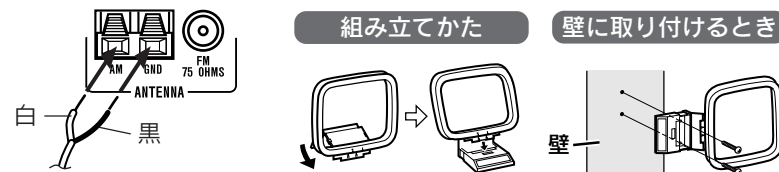
システムを接続する

AM 用ループアンテナ
FM 用アンテナ
AV コントロールユニット
矢印を上にする
近づける
近づける
システム接続用コード
（音声用、黒）
サブウーハー/アンプユニット
近づける
抜くときは
① 押える
② 抜く
矢印を左にする
システム接続用コード
（信号 / 電源用、青）

■ ユニットをつなぐ

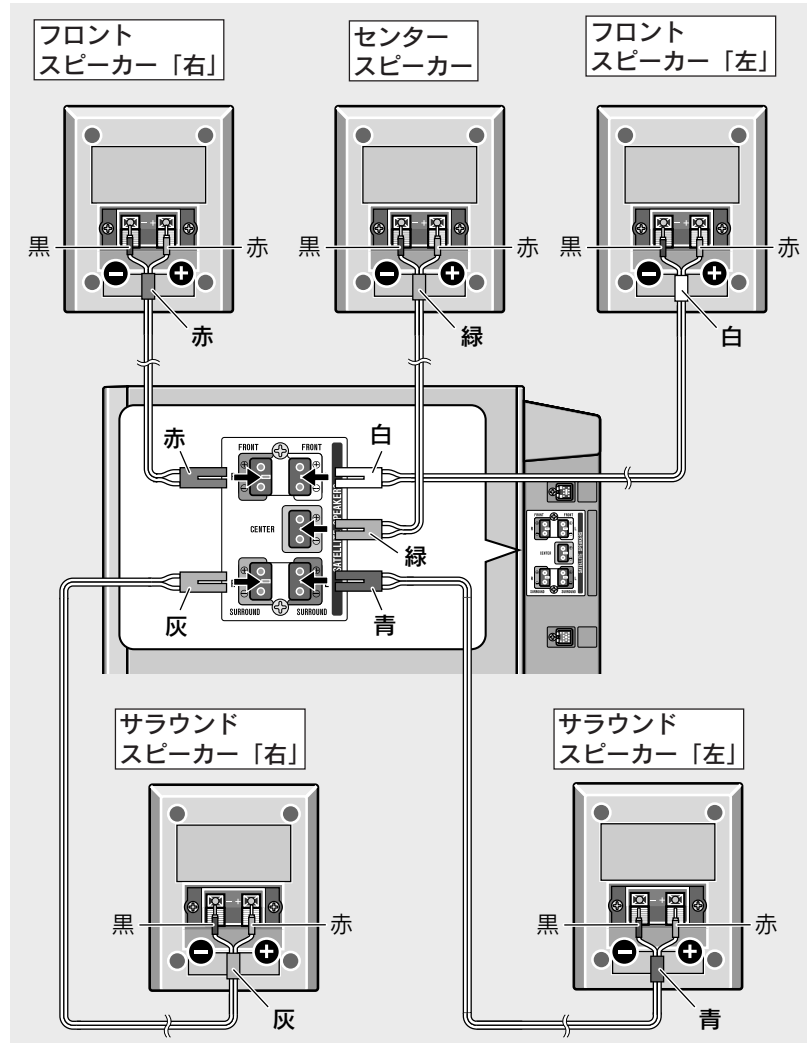
AVコントロールユニット、サブウーハー/アンプユニットを次のように接続してください。

接続するユニット	使用するコード
AVコントロールユニット ① ⇔ サブウーハー/アンプユニット ①	システム接続用コード（音声用、黒）
AVコントロールユニット ② ⇔ サブウーハー/アンプユニット ②	システム接続用コード（信号/電源用、青）

■ アンテナをつなぐ

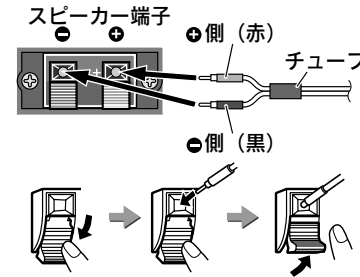
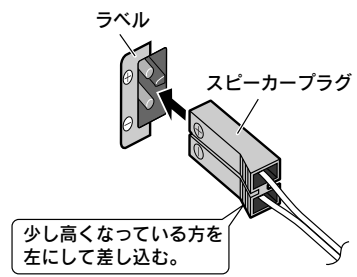
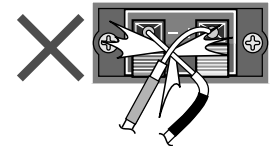
AM 用ループアンテナのコードを AM アンテナ端子へつなぎます。

FM 用アンテナのコードを FM アンテナ端子へつなぎます。

ご 注 意

・接続するときは、必ず電源コードを抜いてから行ってください。
・FM・AM 用アンテナは、本体や電源コード、スピーカーコードから離してください。近づけて使用すると、雑音が入ることがあります。
・2本のシステム接続用コード（音楽用と信号/電源用）は、お互いに近づけてください。離すと雑音が入ることがあります。

サテライトスピーカーは、すべて同じ性能です。
どの位置のスピーカーとしても使用することができます。

■ サテライトスピーカーをつなぐ

サブウーハー / アンプユニットのスピーカー端子ラベルと同じ色のスピーカープラグを接続します。
サテライトスピーカー側を先に接続し、そのあとサブウーハー / アンプユニット側を接続してください。

ご 注 意

・接続するときは、必ず電源コードを抜いてから行ってください。
・スピーカープラグには左右の方向があります。まちがえないように差し込んでください。また、プラグは最後まで確実に差し込んでください。
・スピーカープラグを本体から外すときは、プラグを持って抜いてください。コードを持って抜くと故障の原因となります。
・スピーカーコードの ⊕（プラス）と ⊖（マイナス）、左右をまちがえないように接続してください。（右スピーカーはセンタースピーカーの正面に向って右側に置きます。☞ P.16）
・**スピーカーコードをショートさせないでください。**
電源が入っているときに、誤ってスピーカーコードをショートさせてしまうと、保護回路が働いて電源が切れます。このときは、スピーカーコードが正しく接続されていることを確かめたあと、再び電源を入れてください。
・本機には必ず付属のスピーカーを使用してください。
・スピーカーの上に座ったり、立ったりしないでください。けがの原因となることがあります。

他の機器の音声を接続する

この製品は、他の機器の音声を接続して、聞くことができます。
DVD プレーヤーやビデオ、BS チューナーの映像はそれぞれの機器とテレビを直接つないでください。
（テレビとの接続は、それぞれの機器の取扱説明書をごらんください。）

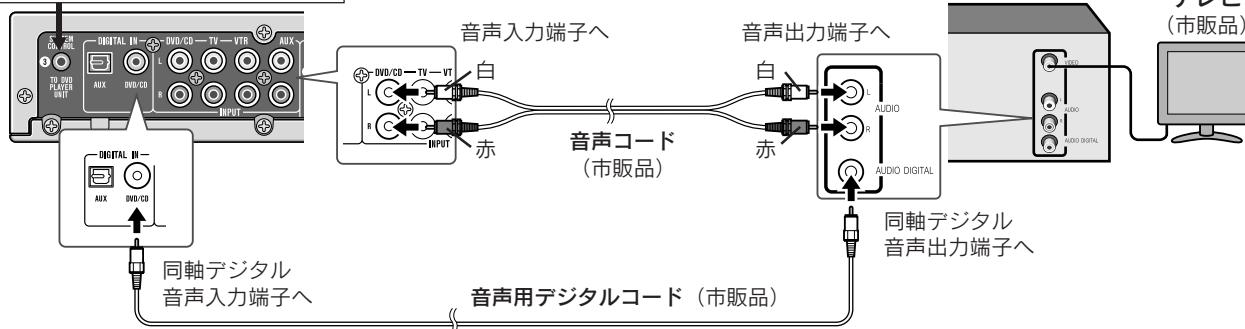
■ DVD プレーヤー（CD プレーヤー）の音声を接続する

音声コードまたは音声用デジタルコードのどちらか一つを接続すれば聞くことができます。
（音声コードと音声用デジタルコードは付属されていません。市販品をお買い求めください。）

ご 注 意

接続するときは、それぞれの機器の電源を切った状態で行ってください。

お知らせ

- 各プラグは最後までしっかり差し込んでください。
  雑音の原因となります。
- 接続する機器の取扱説明書も合わせてごらんください。
- DVD プレーヤー／CD プレーヤーが、光デジタル音声出力端子の場合は、アナログ／デジタル音声とも、AUX をお使いください。
  （BS チューナーの音声を接続する ☞ P.15）

■ テレビの音声を接続する

音声コードで接続すると、テレビの音声をこの製品のスピーカーで聞くことができます。
（音声コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。）

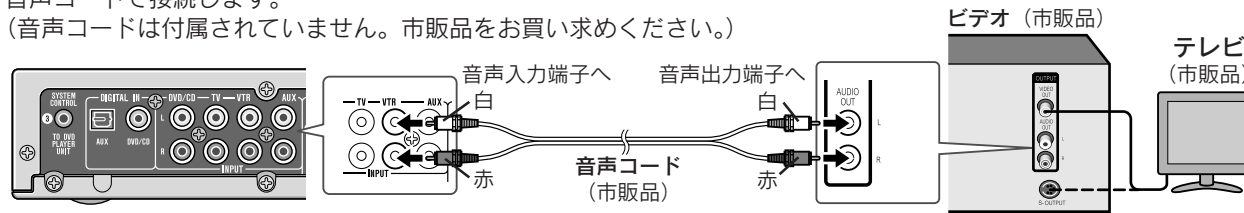
ご 注 意

接続するときは、それぞれの機器の電源を切った状態で行ってください。

お知らせ

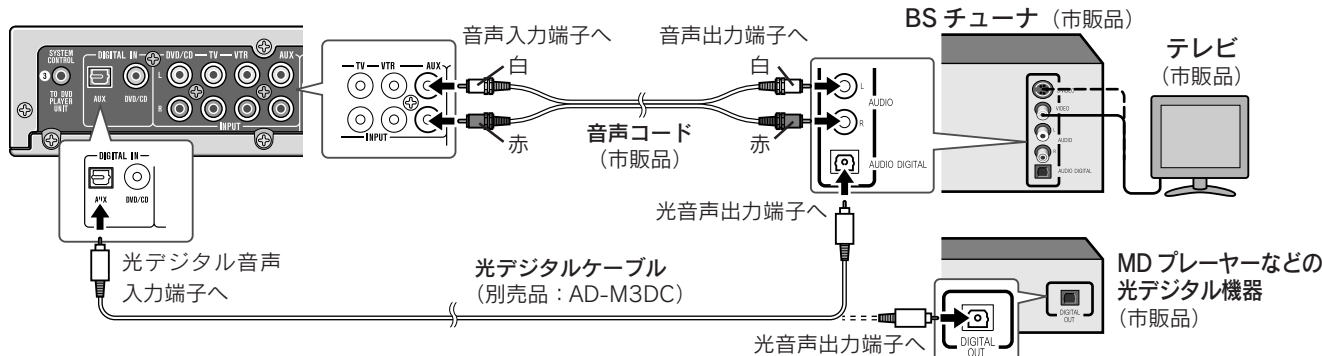
- 各プラグは最後までしっかり差し込んでください。
  雑音の原因となります。
- 接続する機器の取扱説明書も合わせてごらんください。

■ ビデオの音声を接続する

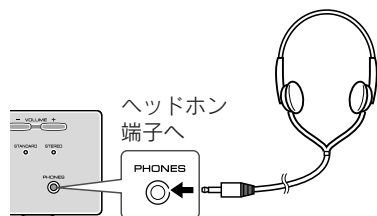
音声コードで接続します。
（音声コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。）

ビデオ（市販品）
テレビ（市販品）
音声入力端子へ
音声出力端子へ
白
赤
音声コード（市販品）

> **ご 注 意**
> 接続するときは、それぞれの機器の電源を切った状態で行ってください。
>
> **お知らせ**
> - 各プラグは最後までしっかり差し込んでください。雑音の原因となります。
> - 接続する機器の取扱説明書も合わせてごらんください。

■ BSチューナー（またはMDプレーヤーなどの光デジタル機器）の音声を接続する

音声コードまたは光デジタルケーブルのどちらか一つを接続すれば聞くことができます。
（光デジタルケーブルや音声コードは付属されていません。別売品・市販品をお買い求めください。☞ P.37）

> **ご 注 意**
> 接続するときは、それぞれの機器の電源を切った状態で行ってください。
>
> **お知らせ**
> - 各プラグは最後までしっかり差し込んでください。雑音の原因となります。
> - 接続する機器の取扱説明書も合わせてごらんください。
> - 光デジタルケーブルで接続したときは、BSチューナーのデジタル出力を PCM に設定してください。設定の方法については、BS チューナーの取扱説明書をごらんください。

■ ヘッドホンを使う

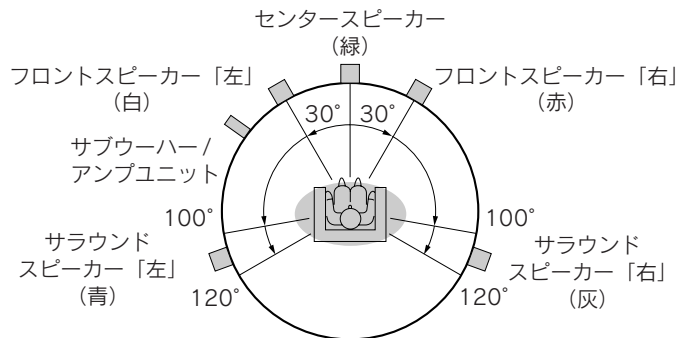
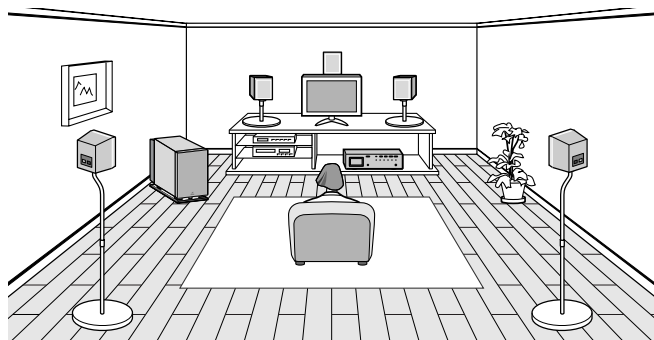
ヘッドホンをつないだり、抜いたりするときは、音量を下げておいてください。

・ヘッドホンをつなぐと、すべてのスピーカーから音は出なくなります。
・インピーダンス16～50Ω（推奨32Ω）で、直径3.5mmステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
・プラグは確実に差し込んでください。
・**ヘッドホンにはサラウンドは働きません。**

音のエチケット

・楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気をつけましょう。
・夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。
・ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう音量を小さくしてお楽しみください。

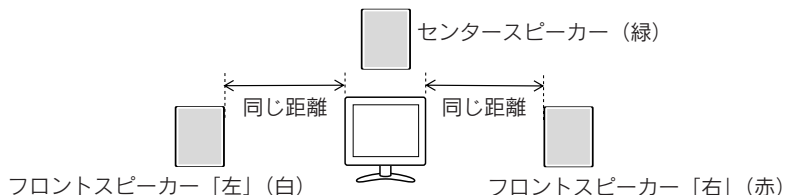
システムを設置する

■ スピーカーを配置する

サラウンド効果を十分に引き出すために、各スピーカーはお聞きになる位置からなるべく等距離に配置してください。
また、図のような角度に配置することをおすすめします。各スピーカーは、チューブの色を参考にしてください。

下のイラストは、別売のスピーカースタンドや壁掛け用スピーカーブラケット（☞ P.37）を使用した例です。取り付けかたは、それぞれの取扱説明書をごらんください。

お知らせ………………………………………………………………………………

・お部屋の状況により、各スピーカーを等距離に配置できないときは、「スピーカーディレイの設定」をごらんください。（☞ P.28）
・スピーカーネットは取り外しができません。

フロントスピーカー・センタースピーカー

フロントスピーカーは、テレビを中心として左右に配置してください。
センタースピーカーは、テレビの近くに置くことをおすすめします。

スピーカーは防磁対応されていますので、テレビの前や横に置くことができます。しかし、使うテレビによってはテレビ画面に色ムラが生じることがあります。

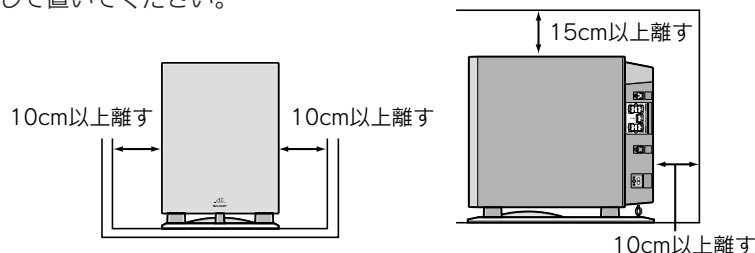
テレビ画面に色ムラがおきたら…

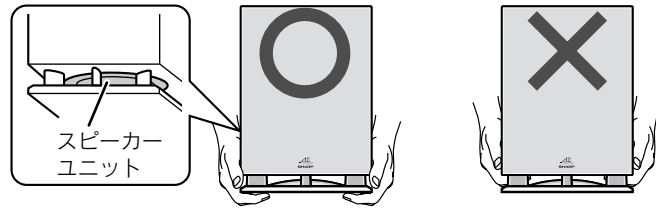
いったんテレビの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。それでも色ムラが残るときは、スピーカーをさらにテレビから離してください。（くわしくは、テレビの取扱説明書をごらんください。）

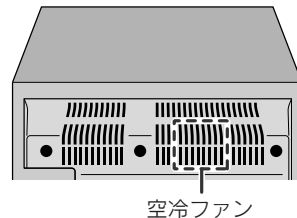
サラウンドスピーカー

耳の高さよりやや高い位置に配置してください。

サブウーハー/アンプユニット

振動しにくいしっかりした床に配置してください。
このサブウーハー/アンプユニットの天面や背面、側面は熱くなります。放熱をよくするため、サブウーハー/アンプユニットの間は次のように離して置いてください。

ご 注 意 ………………………………………………………………………

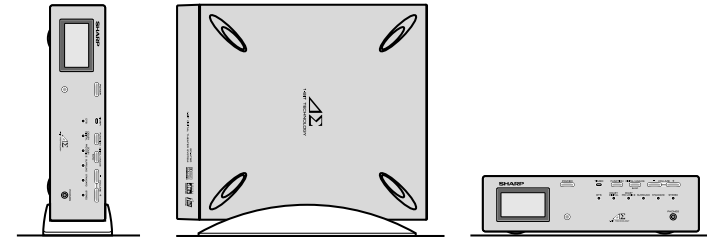
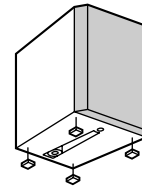
持ち運ぶときは、下部にあるスピーカーユニットに触れないように注意してください。サブウーハーが破損することがあります。必ずサブウーハー/アンプユニットの底面を持ってください。

サブウーハー / アンプユニットの背面には、放熱をよくするために空冷ファンを内蔵しています。

ファンの部分を物でふさがないように注意してください。

・この製品は、5℃～35℃の場所でお使いください。
・この製品をパソコン・携帯電話などの機器の近くで使用すると、それらの機器やこの製品に雑音が入ることがあります。
　そのときは、できるだけ離してください。

高温部への接触について

使用中は、内部から発生する熱により、サブウーハー/アンプユニット表面が熱くなります。長時間触れていると、やけどの原因となることがあります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

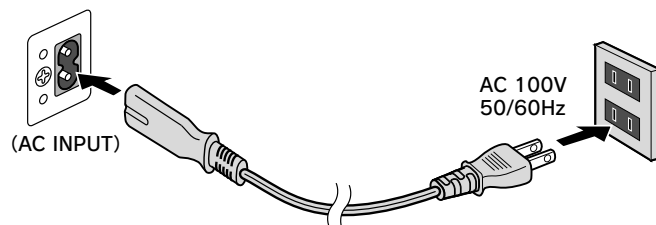
■ AV コントロールユニットを設置する

AV コントロールユニットは、縦や横に設置することができます。
縦置きをする時は、付属のスタンドをお使いください。

スピーカー用すべり止めシートについて

すべり止めシートをフロントスピーカー、センタースピーカーやサラウンドスピーカーの底面に貼り付けてください。
(横に置いてお使いになるときは、底になる面に貼り付けてください。)

システムを設置する（続き）

■ 電源コードを接続する

電源コードをサブウーハー / アンプユニットの AC 電源端子へ差し込み、家庭用電源コンセントに差し込んでください。

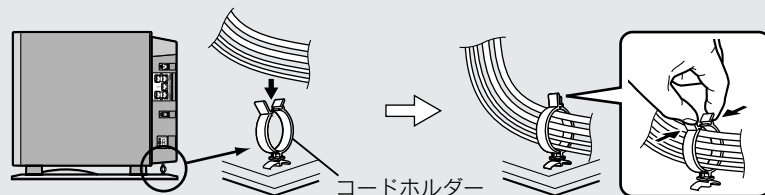
サブウーハー/アンプユニット

ご 注 意

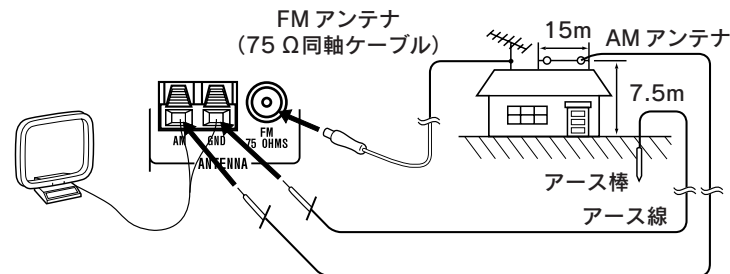
・**付属品以外の電源コードは絶対に使用しないでください。**
故障や事故の原因となります。
・電源コードを抜くときは、電源を切ってからプラグを抜いてください。

節電のために

旅行などで長時間使用しないときは､電源コードをコンセントから抜いておきましょう。電源を切っていても､わずかですが電力を消費しています。(長時間電源コードを抜いていると､登録した内容は消え､各種の設定はお買いあげ時の状態に戻ります。)

接続したコードの処理について

サブウーハー/アンプユニットに接続したコード類を、コードホルダーで止めてください。

■ 屋外アンテナの接続

付属のアンテナでラジオ放送がきれいに聞こえないときは、屋外アンテナを設置することができます。

・アンテナ工事には、技術と経験が必要です。また、高い所での作業は危険です。設置するときは、販売店に相談してください。
・AM用外部アンテナを接続するときは､AM用ループアンテナを接続したままにしておいてください。

屋外アンテナの設置場所について

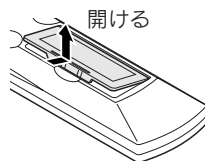
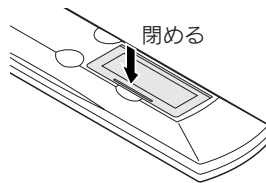
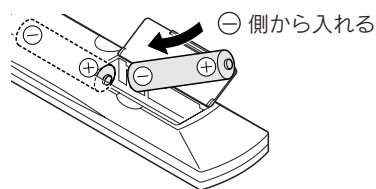
・放送局の送信アンテナがある方向に立てます。
・ビルや山のかげなど、障害物がある所では、最もよく受信できる所に立てて方向も変えてみます。
・自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路から離れた所、またはそれらが見えない所に立てるようにしてください。
・送電線の下には立てないでください。
送電線にアンテナが触れると大変危険です。
・落雷のおそれがありますので、あまり高い所には立てないでください。

アース棒について

アースの接続（接地）は、万一の感電事故を防止することができます。
アース棒を地中に埋めるか、または鉄製の水道管につないでください。
危険ですので、ガス管にはつながないでください。

リモコンの使いかた

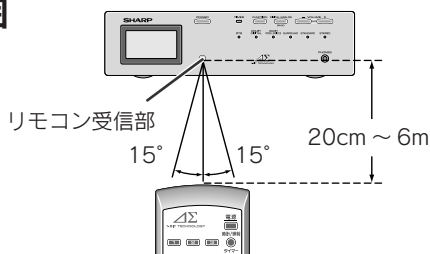
■ 乾電池を入れる

① 電池ブタを開ける。

② 単３乾電池を２本入れる。

ご 注 意

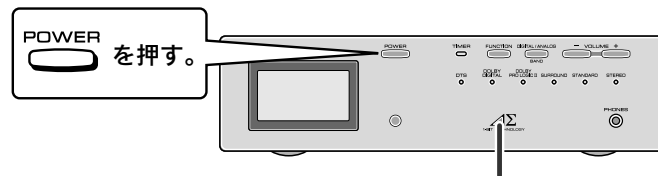
・乾電池の方向に注意して入れてください。
⊕、⊖をまちがえると、故障の原因となります。
・リモコンには充電池（ニカド電池など）を使用しないでください。
充電池では正しく動作しません。

■ リモコンの使える範囲（目安）

リモコン用乾電池の寿命は通常のご使用で約１年です。
リモコン受信部に近よらないと動作しなくなったときは、乾電池を交換してください。

ご 注 意

・リモコン受信部に強い光があたる場所では使用しないでください。
誤動作の原因となります。
・リモコン受信部や送信部にシールなどを貼ったり、本体とリモコンの間には障害物などを置かないでください。
リモコンの操作ができなくなることがあります。

電源を入れる

■ 電源の入れかた

電源表示が点灯します。
電源が入らないときは、電源コードが正しくつながっているか確認してください。

■ 表示部の明るさを変える

暗くするには

明るくするには

時計/照明 を２秒以上押す。

(「ON」を表示して文字が明るくなります。)

時計を合わせる

時刻を合わせると、時計としてはもちろん、タイマー再生することができます。

例）午前９時 30 分に合わせるとき

1 時計/照明 **を押す。**

2 ５秒以内に…
決定 **を押す。**

3 ▲ または ▼ を押し、「時」を合わせ 決定 **を押す。**

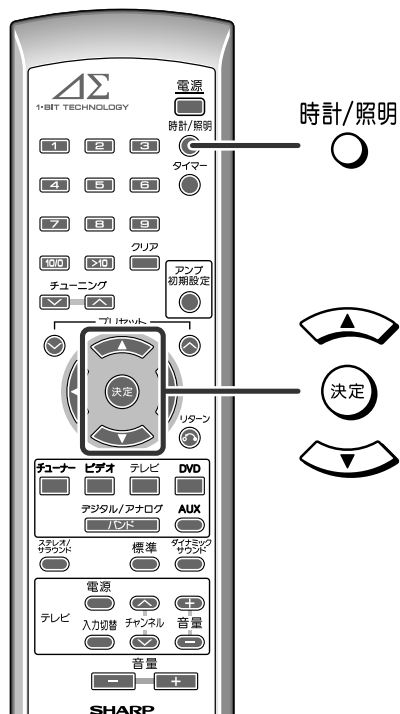
「時」を合わせる

時刻は 12 時間制で表示されます。
午前（AM）/ 午後（PM）の表示に注意してください。
AM 0:00 →夜の 12 時　　PM 0:00 →昼の 12 時

4 ▲ または ▼ を押し、「分」を合わせ 決定 **を押す。**

AM 9:30-

「分」を合わせる

時計が動作し始めます。
約２秒たつと、もとの表示に戻ります。

時刻を修正するには

操作１からやり直してください。

- 操作１では修正前の時刻が表示されます。
- 操作２から４は同じ手順です。

時刻を確認するには

電源が「OFF（オフ）」のときに…
時計/照明 を押す。

時刻が表示されて、約5秒たつと消えます。

電源が「ON（オン）」のときに…
時計/照明 を押す。

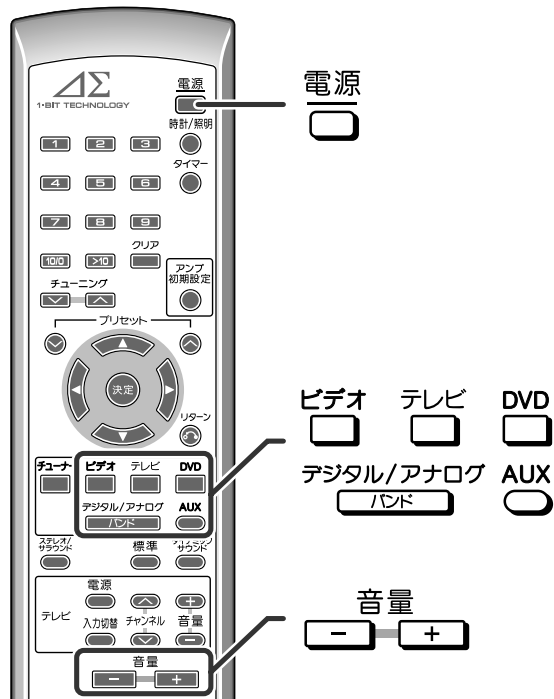
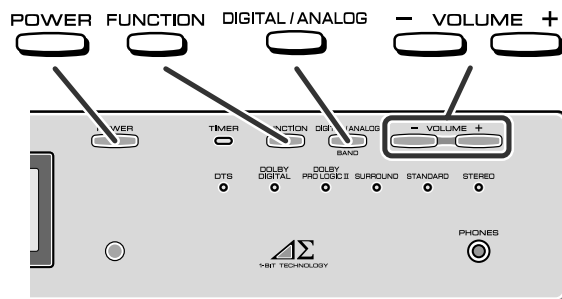
約５秒間表示し、もとの表示に戻ります。

ご 注 意

電源コードを抜いたり、停電があったときなどは、時計の設定は消えてしまいます。
時計を合わせ直してください。

お知らせ

電源が「OFF（オフ）」のときでも時計を合わせることができます。

他の機器の音声を聞く

例）DVD プレーヤー（CD プレーヤー）の音声を聞くとき

1 POWER を押す。

2 DVD プレーヤー（CD プレーヤー）の電源を入れる。

3 FUNCTION を押して、入力を「DVD」にする。

DVD
DIGITAL

・接続した入力端子に合わせて、DIGITAL / ANALOG を押して、音声を「DVD ANALOG（アナログ）」か「DVD DIGITAL（デジタル）」に切り換えてください。
・リモコンの DVD を押しても入力 は「DVD」になります。
・AUX 端子に接続した場合は、入力を「AUX」にしてください。

4 DVD プレーヤー（CD プレーヤー）の再生ボタンを押す。

音量の調整

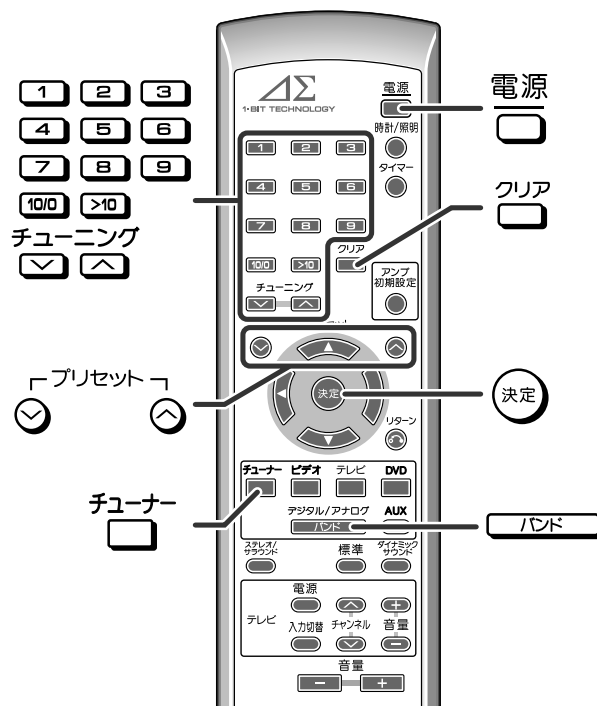
− VOLUME + を押す

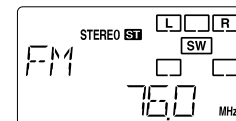
VOLUME20

音量 0（小）～ 40（大）

ご 注 意
長時間使用すると、本機は熱くなりますが、故障ではありません。

お知らせ
音量を上げすぎると、保護回路が働き、電源が切れることがあります。このようなときは、音量を下げてください。

ラジオ放送を聞く

1 電源 を押す。

2 チューナー を押して、入力を「FM（AM）」にする。

3 バンド を押して、“FM STEREO（ステレオ）”、“FM”または“AM”を選ぶ。

4 チューニング∨ または チューニング∧ を押して、放送局を選ぶ。

自動同調：ボタンを0.5秒以上押し続けて離すと、電波の強い放送局を自動的に受信します。

手動同調：ボタンを小きざみに押して、希望する放送局を受信します。

テレビ音声は次の周波数で受信できます。

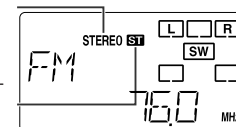
1チャンネル　：　FM 95.75MHz
2チャンネル　：　FM 101.75MHz
3チャンネル　：　FM 107.75MHz

音量を調整する ☞ P.21

FMステレオ放送の受信について

STEREO表示（点灯）	FMステレオモードです。
STEREO表示（消灯）	FMモノラルモードです。

FMステレオ放送を受信すると“ST”表示が点灯します。

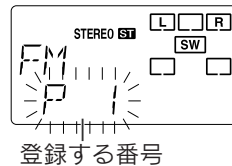
FMステレオ放送を受信しても電波が弱いと“ST”が点灯しません。このときは、音が出ませんので、FMモノラルモードに切り換えて受信してください。

■ 放送局を登録するには

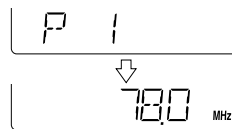
放送局は、AM 放送・FM 放送を合わせて、40 局まで登録できます。

① 登録したい放送局を受信する。

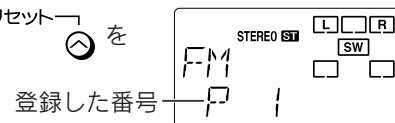
FM 放送のときは、ステレオ・モノラルのモードも記憶されます。

② (決定) を押して、登録モードにする。

③ 5 秒以内に…
(プリセット ∨) または (プリセット ∧) を
押して、登録する番号を選ぶ。

④ 5 秒以内に…
(決定) を押す。

すでに登録されている番号に登録すると、前の登録内容は消えます。

他の放送局を登録するには、操作 1 からの手順をくり返します。

● 登録した放送局を呼び出すには

リモコンの (プリセット ∨) または (プリセット ∧) を押して、登録した番号を選ぶ。

リモコンのダイレクトボタンを使うと便利です

1 ～ 10 局目… (1) ～ (10/0) で登録した番号を選ぶ。
11 ～ 40 局目… (>10) を押したあと、登録した番号を選ぶ。

例）28 局目 (>10) (2) (8)　　ボタンを続けて押すときは、5秒以内に操作してください。

● 登録した放送局をすべて消すには

① (クリア) を 3 秒以上押す。

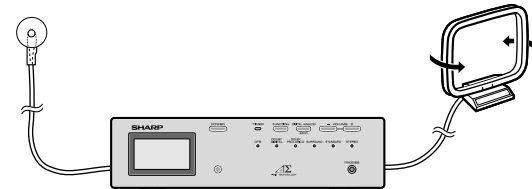
② 「CLEAR（クリア）」が表示されたら (決定) を押す。

■アンテナを調整するには

FM 用アンテナ

放送が最もよく聞こえる位置に変えてください。

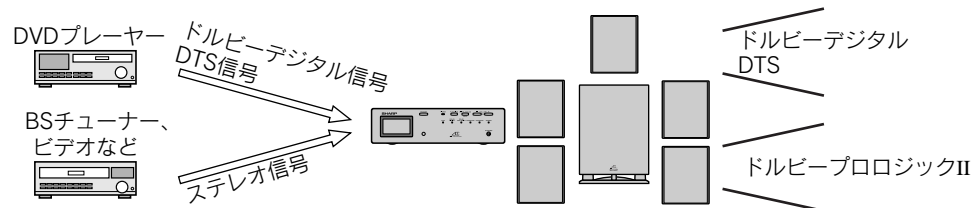
AM 用ループアンテナ

放送が最もよく聞こえる方向にしてください。

接続のしかたは 12 ページをごらんください。

お知らせ

・自動同調しているとき、周囲に妨害電波があると、そこで停止することがあります。
そのときは、手動同調をお使いください。
・この製品のテレビ音声受信回路は、FM 放送受信回路と兼用しています。このため、地域によっては、テレビの 2 または 3 チャンネルの音声を受信したときに、FM 放送が混信することがあります。
・テレビ音声多重放送は受信できません。
・テレビ音声やAM放送は、モノラルで受信されますので、ステレオにはなりません。
・テレビ音声を受信中に “ブー” という音がしたり、同調が不安定になったときは、アンテナを再度調整してください。
・日本国内のFM 放送は、76～90MHz が使用されていますが、この製品はテレビ音声を受信するために、108MHzまで受信することができます。

ひろがりのある音を楽しむ（サウンドモード）

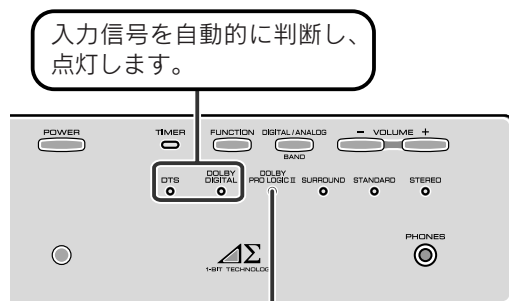
この製品に、DVDプレーヤーをデジタルで接続して音声を聞くと、ドルビーデジタル方式やDTS方式で記録された音声を広がりのある音で楽しむことができます。
また、2chのステレオ音声もドルビープロロジックIIで広がりのある音を楽しむことができます。

サラウンドの種類	入力信号の種類	特　長	切り換え可能なサウンドモード
Dolby Digital（ドルビー デジタル）	DOLBY DIGITAL のマークつきディスクのデジタル入力	劇場向けデジタル音声システムの1つです。立体的な音響効果が得られ、本格的なホームシアターシステムが楽しめます。 ドルビーデジタル方式で記録されているディスクを再生すると、自動的に判断します。	ステレオ 標準 ダイナミックサウンド
DTS (Digital Theater Systems)（デジタル シアター システムズ）	DIGITAL dts SURROUND のマークつきディスクのデジタル入力	劇場向けデジタル音声システムの1つです。音質を重視しているので、リアルな音響効果が得られ、本格的なホームシアターシステムが楽しめます。DTS方式で記録されているディスクを再生すると自動的に判断します。	ステレオ 標準 ダイナミックサウンド
Dolby Pro Logic II（ドルビー プロ ロジック）	BS放送やステレオ音声で録音されているディスクやビデオテープなどの入力	BS放送やステレオ音声で録音されているディスクやビデオテープなどを再生すると、ドルビープロロジックII機能により自動的に判断し、5.1chのデジタルサラウンド音声に変換します。自然な音響効果が得られます。	ステレオ（※1） サラウンド（※2） 標準 ダイナミックサウンド

（切り換えかたは ☞ P.26）

ご注意

DVDプレーヤーをアナログ音声で接続している場合は、ドルビーデジタル方式やDTS方式のサラウンドを楽しむことはできません。特にDTS方式の音声はアナログでは出力されませんので、音声出力の設定など、くわしくは、DVDプレーヤーの取扱説明書をごらんください。

本 体 表 示

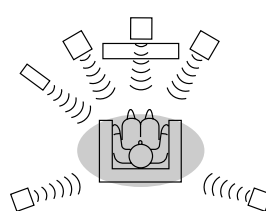
入力信号を自動的に判断し、点灯します。

・標準モードで2chの信号が入力されたときに点灯し、5.1chのサラウンド音声に拡張します。
・ドルビーデジタルで記録された2ch音声でも、5.1chに拡張します。

※1、※2のサウンドモードでは、「Dolby Pro Logic II（ドルビー プロ ロジック）」表示は消灯します。

聞こえかた

標準

最大5.1chのサラウンド音声が再生され、立体的な音響効果が楽しめます。録音された音声信号に応じて、出来るだけ5.1chで再生するよう、自動的に働きます。

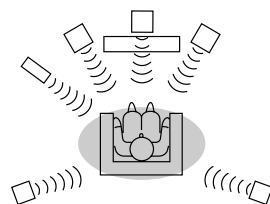
「STANDARD（スタンダード）」ランプが点灯します。

ダイナミックサウンド

シーンに合わせて楽しむことができる機能です。

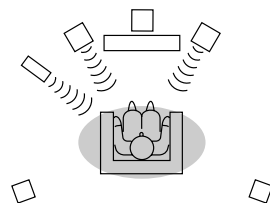
MOVIE（ムービー）：低音のレベルを増やし､より迫力のあるサウンドが楽しめます。
MUSIC（ミュージック）：歯切れを良くし、メリハリのあるサウンドが楽しめます。
NIGHT（ナイト）：小さい音量でもソフトで迫力のあるサウンドが楽しめます。

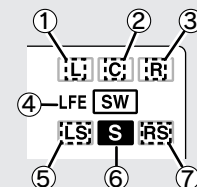
サラウンド

2chの音声を全てのスピーカーから出し、立体的な音響効果が楽しめます。

「SURROUND（サラウンド）」ランプが点灯します。

ステレオ

左右のフロントスピーカーとサブウーハーからの音響効果が楽しめます。

「STEREO（ステレオ）」ランプが点灯します。

お知らせ

- サウンドモードが標準やサラウンドのとき、モノラル信号ではセンタースピーカーのみ再生します。
- サウンドモードがステレオのとき、モノラル信号では2ch (L、R)同じ音声を再生します。
- 入力される音声信号に応じて、サラウンド信号表示が点灯します。

① フロント「左」信号表示
② センター信号表示
③ フロント「右」信号表示
④ LFE「低域効果」信号表示
⑤ サラウンド「左」信号表示
⑥ サラウンド「モノラル」信号表示
⑦ サラウンド「右」信号表示

ひろがりのある音を楽しむ(サウンドモード)(続き)

■ サウンドモードの切り換えかた

「標準」で楽しむ

例) ドルビーデジタル5.1chの場合

再生中に…

標準 を押す。

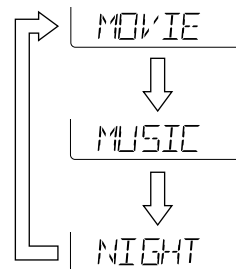
「STANDARD(スタンダード)」ランプが点灯します。

ダイナミックサウンドで楽しむ

ダイナミックサウンド を押す。

押すたびに「MOVIE(ムービー)」→「MUSIC(ミュージック)」→「NIGHT(ナイト)」の順に切り換わります。

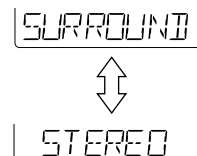
「標準」のサラウンド音声に戻すには…

標準 を押す。

「サラウンド」や「ステレオ」で楽しむ

再生中に…

ステレオ/サラウンド を押す。

「SURROUND(サラウンド)」ランプまたは、「STEREO(ステレオ)」ランプが点灯します。

押すたびに「SURROUND(サラウンド)」と「STEREO(ステレオ)」が切り換わります。

お知らせ

- ステレオやサラウンドを選んでいるときに、ダイナミックサウンドボタンを押すと、サウンドモードの種類は「標準」になります。
- 「DOLBY(ドルビー) DIGITAL(デジタル)」や「DTS」の表示ランプが点灯しているときは、「サラウンド」を選ぶことはできません。
- ディスクの中には、サンプリング周波数が96kHzで記録されたものがあります。
  このようなディスクを再生したときは、サウンドモードが自動的に「ステレオ」に切り換わります。
  また、再生中はサウンドモードの切り換えができません。

リモコンの設定内容を変える

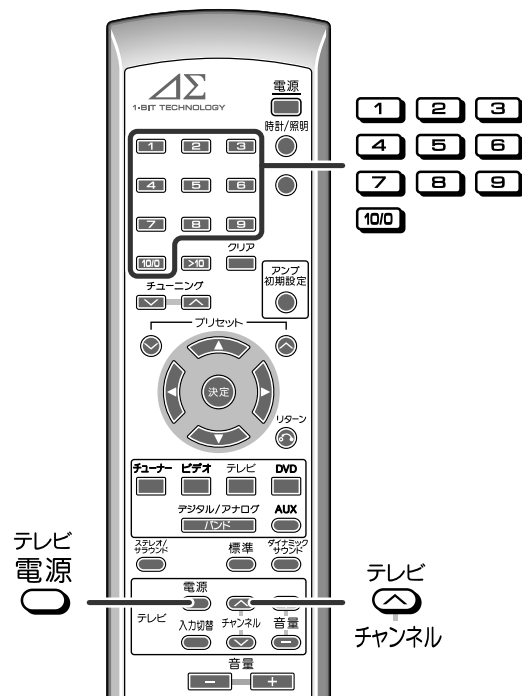
シャープ製のテレビは、設定内容を変えなくてもリモコンで操作することができます。(☞ P.34)
(機種によっては操作できないものもあります。)
その他のテレビは、設定内容を変えるとリモコンで操作ができるようになります。

■ テレビのメーカー設定を変える

❶ テレビ 電源 を押したまま、チャンネル を押す。

❷ 数字入力ボタン (0～9) で、メーカー設定番号 (2ケタ) を入力する。

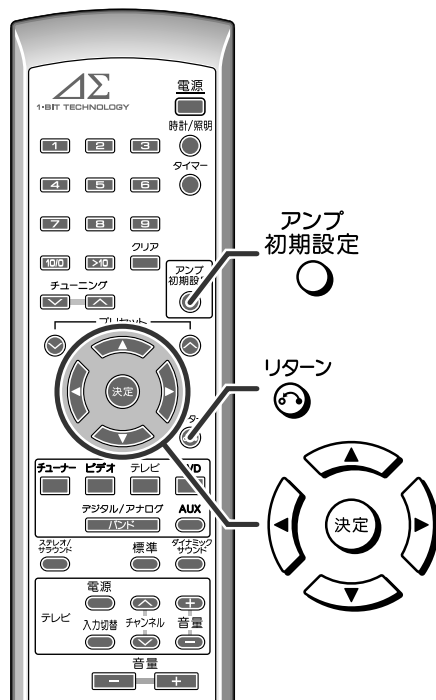
❸ テレビ 電源 を押す。

設定したあと、テレビが正しく動作するか、確かめてください。

テレビのメーカー名	設定番号
シャープ	01(*),02
松下電器	03,04,05
日本ビクター	06,07,08
ソニー	09
三菱電機	10,11,12,13
日立製作所	14,15,16,17
東芝	18,19
パイオニア	20
三洋電機	21,22,23,24
富士通	25
アイワ	26
フナイ	27,28,29,30,31,32
SAMSUNG	33,34,35,36

*お買いあげ時のメーカー番号は、01(シャープ)に設定されています。

お知らせ

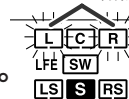
- メーカー番号が2つ以上あるときは、順に試してテレビが操作できる番号を選んでください。
- 操作の途中で30秒以上たつと登録されません。そのときは、もう一度登録してください。
- メーカー番号を登録すると、それまでのメーカー番号は消えます。
- リモコンの電池を交換したときは、メーカー番号が自動的に01 (シャープ) に戻ることがあります。そのときは、もう一度登録してください。
- テレビによっては、設定できないものがあります。
また、設定できても一部のボタンが使えないことがあります。

スピーカーの設定について

■ スピーカーサイズの設定

付属のスピーカー以外のスピーカーをお使いのときは、スピーカーサイズを変更することができます。

❶ アンプ初期設定 を押し、◀ または ▶ で「SP SIZE（サイズ）」を選び、決定 を押す。

❷ 10 秒以内に…
◀ または ▶ を押して、スピーカーを選ぶ。

選んだスピーカーが点滅
L C R
LFE SW
LS S RS

❸ 10 秒以内に…
▲ または ▼ を押して、サイズを選ぶ。
他のスピーカーを設定するときは、操作2からくり返してください。

ご 注 意
スピーカーサイズの設定は、サウンドモードを「標準」にして行ってください。

お知らせ
付属のスピーカーでの推奨設定になっていますので、他のスピーカーを接続するときは、29 ページ右上の表をごらんください。

■ スピーカーディレイの設定

各スピーカーを等距離に設置できないときでも、等距離に設置したときと同じような効果が得られます。

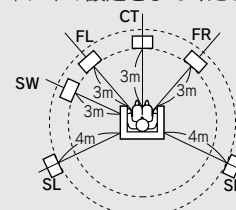
❶ アンプ初期設定 を押し、◀ または ▶ で「SP DELAY（ディレイ）」を選び、決定 を押す。

❷ 30秒以内に… ◀ または ▶ を押して、スピーカーを選ぶ。

❸ 30 秒以内に… ▲ または ▼ で距離を選び、決定 を押す。

FL 3.0M

・距離の設定は 0.1m 単位で切り換えることができます。
・他のスピーカーの距離を設定するときは、操作 2 からくり返してください。

視聴する位置から各スピーカーまでの距離を測り、スピーカーディレイの設定をしてください。

上記の配置では、フロントスピーカー「左」「右」・センタースピーカー・サブウーハーは3m に、サラウンドスピーカー「左」「右」は4mに設定します。

お知らせ
調整範囲については29ページ右下の表をごらんください。

■ スピーカーレベルの調整

各スピーカーからの聞こえかたが均一でない場合は、均一に調整することができます。

1. アンプ初期設定 を押し、◀ または ▶ で「SP LEVEL（レベル）」を選び、決定 を押す。
2. 10秒以内に… ◀ または ▶ を押して、スピーカーを選ぶ。
3. 10秒以内に… ▲ または ▼ を押して、レベルを調整する。

   FL +5 dB

   ・レベルの調整は1dB単位で切り換えることができます。
   ・他のスピーカーのレベルを調整するときは、操作2からくり返してください。

お知らせ
- サブウーハーの音が歪むときは、サブウーハーのレベルを調整してください。
- 調整範囲については右下の表をごらんください。

■ テストトーンでの確認

各スピーカーに一定音を出し、音の確認ができます。

1. アンプ初期設定 を押し、◀ または ▶ で「TONE（トーン）」を選び、決定 を押す。

   フロントスピーカー「左」から順に、2秒間のテストトーンを各スピーカーにくり返し出力します。

   FL → CT → FR
   ↑　　　　　↓
   SW ← SL ← SR

お知らせ
スピーカーサイズの設定で、NO（切）を選んだスピーカーはテストトーンがでません。

● レベル調整が合っていないときは

テストトーン出力中に…
▲ または ▼ を押して、スピーカーレベルを調整します。
◀ または ▶ を押すと、スピーカーを選ぶことができます。

● スピーカーの設定を終了するには

リターン を2回押す。

スピーカーの種類	スピーカーサイズ	
フロントスピーカー「左」「右」	F-LARGE	大口径
	F-SMALL*	小口径
センタースピーカー	C-LARGE	大口径
	C-SMALL*	小口径
	C-NO	切
サラウンドスピーカー「左」「右」	S-LARGE	大口径
	S-SMALL*	小口径
	S-NO	切

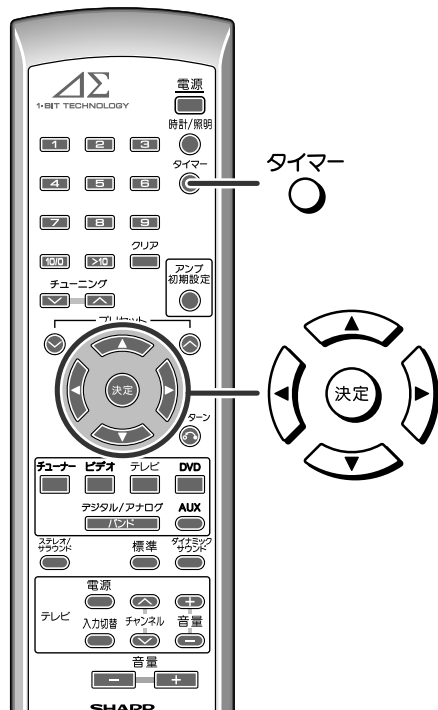
＊印はお買いあげ時の設定です。

スピーカーの種類		ディレイ調整範囲	レベル調整範囲
FL	フロントスピーカー「左」	0.1～9.0m	－6dB～＋6dB
CT	センタースピーカー	0.1～9.0m	－6dB～＋6dB
FR	フロントスピーカー「右」	0.1～9.0m	－6dB～＋6dB
SL	サラウンドスピーカー「左」	0.1～9.0m	－6dB～＋6dB
SR	サラウンドスピーカー「右」	0.1～9.0m	－6dB～＋6dB
SW	サブウーハー	0.1～9.0m	－10dB～＋10dB

お買いあげ時の設定……2.0m …………… 0dB

タイマーを使う

タイマーを使う前に

1. 時計を合わせてください。（☞ P.20）
   時計を合わせていないと、タイマー再生は使用できません。
2. 再生の準備をしてください。

■ タイマーを設定する

設定した時刻に音声を楽しむことができます。

1 電源を入れて…

タイマー ボタンを押す。

TIMER STANDBY

「TIMER STANDBY」が表示されないときは、時計を合わせてください。

2 10 秒以内に…

◀ または ▶ で「TIMER SET」を選び、

決定 を押す。

TIMER SET

3 ▲ または ▼ で開始時刻の「時」を合わせ、決定 を押す。

AM 7:00

4 ▲ または ▼ で開始時刻の「分」を合わせ、決定 を押す。

開始時刻が設定され、「時」が 1 時間増えて、終了時刻に切り換わります。

5 操作 3 ～ 4 と同じ手順で、終了時刻を設定する。

6 ▲ または ▼ で入力を切り換えて、決定 を押す。

7 ▲ または ▼ で音量を調整して、決定 を押す。

設定内容が順に表示されたあと、電源が切れます。

タイマー設定表示が点灯し、待機状態になります。「TIMER」ランプが点灯します。

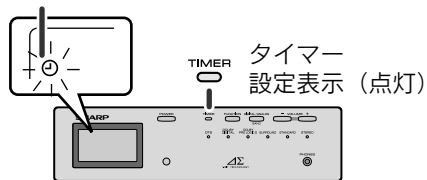
タイマー設定の内容を確認したいとき…

① タイマー再生待機状態のときに…
(タイマー)を押す。

CANCEL

② 10秒以内に…
◀または▶で「TIMER CALL（タイマーコール）」を選び、(決定)を押す。
設定内容が順に表示されたあと、タイマー再生の待機状態に戻ります。

タイマー開始時刻になると…

タイマー再生が始まり、音量は徐々に大きくなります。

タイマー終了時刻になると…

電源が自動的に切れます。

設定内容は変更するまで覚えています。

● 同じ内容で再度タイマーを使うには

タイマーの内容は、一度設定すると覚えています。
内容を変えないときは、次の操作で動作します。

① 電源を入れて… (タイマー)を押す。
「TIMER STANDBY（タイマースタンバイ）」が表示されないときは、時計の設定が消えています。そのときは、時計を合わせてタイマー設定をやり直してください。

② 10秒以内に… (決定)を押す。
設定内容が順に表示されたあと、タイマー再生の待機状態になります。

● タイマー設定の内容を変更するには

電源を入れて…
「タイマーを設定する」の操作1からやり直してください。
（☞ P.30）

● タイマー再生を解除するには

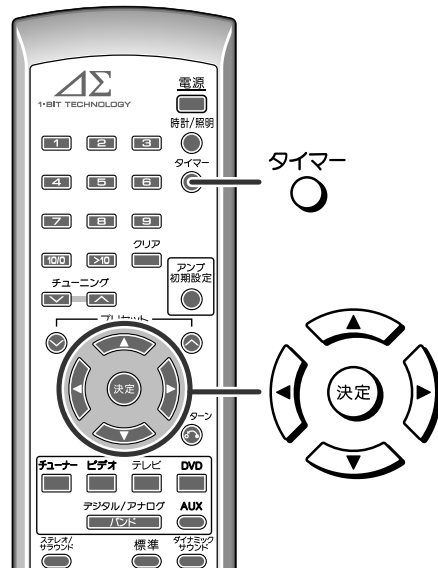
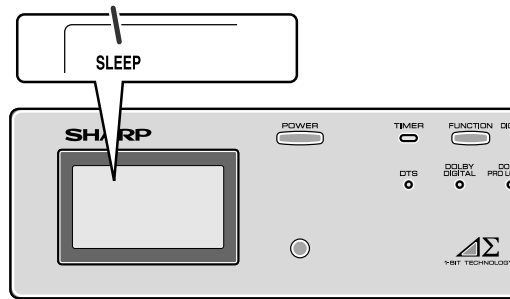
タイマー再生待機状態のときに、電源を入れると解除されます。
電源を入れずに次の操作でも解除できます。

① (タイマー)を押す。
「TIMER CANCEL（タイマーキャンセル）」が表示されます。

② 10秒以内に… (決定)を押す。
タイマー再生は解除されます。(設定した内容は消えません。)

ご注意

- 電源コードを抜いたり、停電になるとタイマー設定の内容は消えます。
  そのときは、もう一度設定してください。
- **他の機器は、この製品のタイマーでは操作できません。**
  他の機器の音声を用いて、タイマー再生する場合は、接続している機器もタイマー開始の設定をしておく必要があります。

スリープを使う

■ スリープを設定する

音声を楽しみながら、設定した時間で電源を切ることができます。

❶ 再生中に…

タイマー ○ **を押す。**

`TIMER STANDBY`

❷ 10 秒以内に…

◀ または ▶ で「SLEEP（スリープ） SET（セット）」を選び、(決定) を押す。

`SLEEP SET`

❸ ▲ または ▼ を押して、時間を選ぶ。

`2:00`

・時間は 2 時間～ 1 分まで選べます。
・2 時間～ 5 分までは 5 分単位で、5 分～ 1 分までは 1 分単位で設定できます。

❹ (決定) **を押す。**

スリープ再生表示が点灯し、スリープ再生が始まります。

スリープ再生終了時刻になると…

再生が終わり、電源が自動的に切れます。

終了時刻の 1 分前になると、音量が徐々に小さくなります。
このとき、音量を変えることはできません。

ご 注 意

他の機器は、この製品のスリープでは操作できません。他の機器の音声を用いて、スリープ再生する場合は、接続している機器もスリープの設定をしておく必要があります。

● スリープ中に残り時間を確認する

① 「SLEEP（スリープ）」の点灯中に…

タイマー を押す。

② 10秒以内に…

または で「SLEEP（スリープ）」を選ぶ。

・約10秒後にもとの表示に戻ります。
・スリープ残り時間が表示されているときに 決定 を押すと、時間を変更することができます。
（☞ P.32：操作3～4）

● スリープ再生を解除する

「SLEEP（スリープ）」の点灯中に電源を切ると、スリープ再生は解除されます。電源を切らずに次の操作でも解除できます。

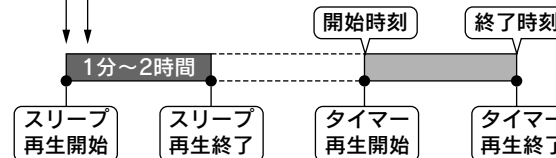
① タイマー を押す。

② 10秒以内に…

または で「SLEEP OFF（スリープ オフ）」を選び、決定 を押す。

■ スリープとタイマーを組み合わせて使う

たとえば、CDを聞きながらおやすみになり、次の日の朝、CDの音楽で目覚ましをすることができます。

スリープ再生の終了時刻になると電源が自動的に切れ、タイマー再生の開始時刻になると電源が自動的に入り、タイマー再生が始まります。

お知らせ……………………
他の機器は、この製品のスリープやタイマーでは操作できません。
他の機器の音声を用いて、スリープやタイマーを組み合わせて使う場合は、接続している機器も設定をしておく必要があります。

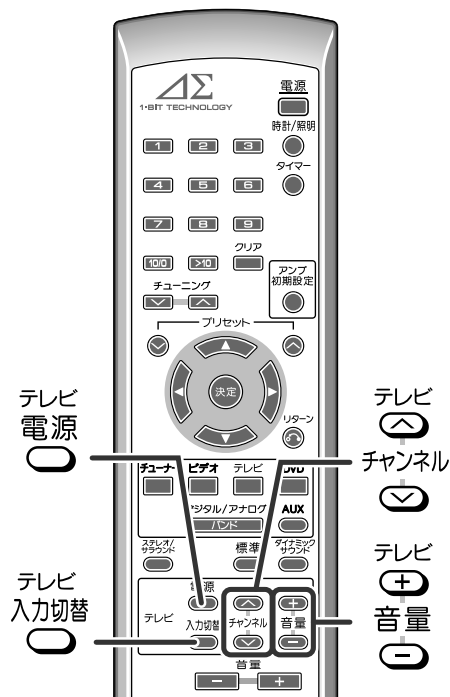
テレビを操作する

テレビは、本機のリモコンで操作することができます。お買いあげ時は、シャープ製のテレビを操作できるようになっています。
その他のテレビを操作するには、リモコンの設定内容を変更してください。（☞ P.27）

■ テレビを見るときは

1. テレビ 電源 を押して、テレビの電源を入れる。
2. テレビ チャンネル または チャンネル を押して、テレビのチャンネルを合わせる。
3. テレビ 音量 または 音量 を押して、テレビの音量を調整する。
4. テレビ 入力切替 を押して、テレビの入力切替を「ビデオ 1、ビデオ 2」などに設定する。

ご注意

シャープ製のテレビでも、一部の機種は操作できないものがあります。

“故障かな？” と思ったら

次のようなときは故障ではないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、38ページの「保証とアフターサービス」をごらんのうえ修理を依頼してください。

■ 共通

		(参照ページ)
スピーカーから音が出ない	➡ 音量が「0」になっていませんか。 ➡ ヘッドホンをつないでいませんか。 ➡ スピーカーは正しく接続されていますか。 ➡ スピーカーサイズの設定でNO（切）を選んでいませんか。	P.21 P.15 P.13 P.28
スピーカーの音にばらつきがある	➡ スピーカーコードの ⊕、⊖ をまちがえていませんか。 ➡ 各スピーカーをお聞きの位置から等距離に設置していますか。 ➡ スピーカーレベルが合っていますか。	P.13 P.16 P.29
再生中に雑音が出る	➡ パソコン・携帯電話などの機器が本機の近くにある場合は、離してください。	―――
ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった	➡ 一度、電源を切り、操作をやり直してください。それでも動作しないときは、リセット操作をしてください。	P.36
タイマー再生が動作しない	➡ 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。 時計を合わせ直してください。	P.20
表示部が暗い	➡ リモコンの時計/照明ボタンを2秒以上押して「ON（オン）」を選んでください。	P.19
電源が入らない	➡ 電源プラグがコンセントからはずれていませんか。 ➡ 保護回路が働いていることがあります。電源プラグをコンセントから抜き、5分以上たってから再び差し込んでください。	P.18 P.36

■ チューナーの操作

		(参照ページ)
放送に“シー”、“ザー”という連続音が入る	➡ テレビやコンピュータ、ワープロなどの近くでラジオ放送を受信すると雑音が入ります。このようなときは、雑音の発生しやすいところから離してみてください。 ➡ アンテナの方向が悪くありませんか。	――― P.23
放送がよく受信できない 雑音も多い	➡ アンテナ線の近くに電源コードがある場合は離してください。 ➡ 受信状態が改善されない場合は、屋外アンテナを設置する方法もあります。	――― P.18
登録した放送局を呼び出すことができない	➡ 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。登録し直してください。 ➡ リセット操作をしませんでしたか。登録し直してください。	P.23 P.23

■ リモコンの操作

		(参照ページ)
リモコンで操作できない または、正しい動作をしない	➡ 乾電池の ⊕、⊖ の向きが逆になっていませんか。 ➡ 乾電池が消耗していませんか。 ➡ リモコンの送信部を本機のリモコン受信部に正しく向けていますか。 ➡ リモコン受信部との距離が遠すぎませんか。または、近すぎませんか。 ➡ 本機の前に障害物はありませんか。 ➡ リモコン受信部に強い光(インバーター蛍光灯や直射日光など)があたっていませんか。 ➡ 他の機器のリモコンを同時に操作していませんか。	P.19 ――― P.19 P.19 P.19 P.19 ―――
リモコンで電源が入らない	➡ 電源コードはつながっていますか。 ➡ 乾電池は入っていますか。	P.18 P.19

“故障かな？” と思ったら（続き）

■ エラーメッセージについて

操作を誤ったときなどに､AVコントロールユニット表示部に次のような表示がでます。

AV コントロールユニット表示	エラーの内容
DSP NG	・サラウンド回路の動作不良。 近くにノイズを発生するものがあれば本体から離したり、電源プラグの差し込み位置を変えてみる。（※）
ER-AP02	・スピーカーの接続不良。 ・アンプの異常と判断した。 電源を入れ直してみる。（※）
ER-AP03	・アンプの異常と判断した。 電源を入れ直してみる。（※）
ER-AP14	・アンプの異常と判断した。 近くにノイズを発生するものがあれば本体から離したり、電源プラグの差し込み位置を変えてみる。（※）
FAN LOCK	・サブウーハー/アンプユニット背面の空冷ファンに異物がはさまり回らない。 電源を切って、空冷ファン周辺の異物を取り除く。
NOSIGNAL	・デジタル音声入力端子の接続不良。 ・規格外の信号で認識することができない。
S-CABLE	・システム接続用コードがはずれている。
TEMP	・温度が高くなりすぎた。 電源を切ってしばらく置いておく。

（※）電源プラグを差し込み直したり、電源を入れ直しても、同じ表示がでるときは、38 ページの「保証とアフターサービス」をごらんのうえ、修理を依頼してください。

■ 異常が起きたら

この製品を使用中に、強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けたときや誤った操作をしたときなどに、正しく表示しなくなったり、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、次のようにリセット操作をしてください。

● リセット操作

① **電源コードをコンセントから抜きます。**
② **POWER を押したまま、電源コードを差し込みます。**
このとき電源は入りません。
③ **もう一度、POWER を押し、電源を入れてください。**
リセット操作をすると、登録した内容は消え、各種の設定はお買いあげ時の状態に戻ります。

● アンプの保護回路が働いたとき

スピーカーコードをショートさせたり、音量を上げすぎると、保護回路が働き電源が切れることがあります。
電源コードを一度抜いて、5 分以上たってから再び差し込んでください。
音量を上げすぎたときは、少し下げてください。

仕様について

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

● AV コントロールユニット

最大外形寸法	215mm（幅）× 58mm（高さ）× 261mm（奥行）（JEITA）
質量	約 1.3kg
音声入力端子	デジタル入力： 光× 1（AUX） 同軸× 1（DVD/CD） アナログ入力： ピンジャック（L/R）× 4 （DVD/CD、TV、VTR、AUX）
音声出力端子	ヘッドホン： 16 Ω～ 50 Ω（推奨 32 Ω） 直径 3.5mm ステレオミニジャック× 1
その他の端子	システムコントロール× 3 アンテナ× 3 （FM75 Ω、AM、アース）
時計形式	デジタルクロック
タイマー	1 日 1 回 ON/OFF 可能
チューナー回路方式	クオーツデジタルシンセサイザー方式 スーパーヘテロダインFM/AMチューナー
受信周波数	FM： 76.0 ～ 108.0 MHz （TV 音声 1 ～ 3CH） AM： 522 ～ 1,629 kHz

● リモコン

電源	DC3V（付属単３乾電池× ２個）

● サブウーハー / アンプユニット

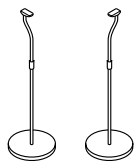
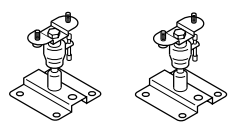
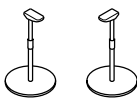
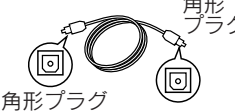
電源	100V AC、50/60Hz
消費電力	130W
最大外形寸法	260mm（幅）× 373mm（高さ）× 421mm（奥行）（JEITA）
質量	約 9.9kg
実用最大出力	総合 300W フロント： 50W ＋ 50W (JEITA) センター： 50W (JEITA) サラウンド： 50W ＋ 50W (JEITA) サブウーハー： 50W (JEITA)
A/D ノイズシェーピング	７次⊿Σ（デルタシグマ）変調
サブウーハー	16cm［防磁設計(JEITA)］
音声出力端子	スピーカー出力： ４Ω（ソケットタイプ、５チャンネル）
その他の端子	システムコントロール× 2 AC 電源× 1

● サテライトスピーカー

形式	8cm［防磁設計(JEITA)］
最大入力	100W
インピーダンス	4 Ω
最大外形寸法	95mm（幅）× 114mm（高さ）× 104mm（奥行）（JEITA）
質量	約 0.7kg × 5

お手入れについて

■ 本体のお手入れ

やわらかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

ご 注 意

ベンジン、シンナーなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

別売品について

この製品を正しく動作させるために、別売品は指定のものをお使いください。
スピーカーの取り付け方についてはスタンドやブラケットの取扱説明書をごらんください。

フロアー型スピーカースタンド	壁掛け用スピーカーブラケット
形名：AD-AT10ST	形名：AD-AT10SA
テーブル型スピーカースタンド	**光デジタルケーブル**
形名：AD-AT10LS	形名：AD-M3DC 角形プラグ 角形プラグ コードの長さ：約 1m

別売品の形状はイラストと異なることがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（別添）

● 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

● **保証期間**
お買いあげの日から１年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

● 当社は、この1ビットデジタルシアターシステムの補修用性能部品を製造打切後、８年保有しています。

● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

● 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（39ページ）にお問い合わせください。

長年ご使用の機器の点検を！	
このような症状はありませんか？	● 電源コードやプラグが異常に熱い ● コゲくさい臭いがする ● 電源コードに深いキズや変形がある ● その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

修理を依頼されるときは　出張修理

● 「“故障かな？”と思ったら」（35～36ページ）を調べてください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず 電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

■ご連絡していただきたい内容

品　　名 ：1ビットデジタルシアターシステム
形　　名 ：SD-AT50
お買いあげ日　（ 年 月 日）
故障の状況　（できるだけ具体的に）
ご 住 所　（付近の目印も合わせてお知らせください。）
お 名 前
電話番号
ご訪問希望日

■便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電　話（　　　　）　　－

■保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は・・・ **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は・・・・・ **お客様相談センター** へ

お客様相談センター

■ 受付時間： ＊月曜～土曜：午前9時～午後6時
＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL 043-297-4649	FAX 043-299-8280
	〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	
西日本相談室	TEL 06-6621-4649	FAX 06-6792-5993
	〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

修理相談センター

● **修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）**

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

0570-02-4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、ＮＴＴより通話料金の目安をお知らせ致します。
（注）携帯電話・ＰＨＳからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話／ＰＨＳでのご利用は･･･	(一般電話)	043-299-3863	06-6792-5511
○ ＦＡＸを送信される場合は･･････	(ＦＡＸ)	043-299-3865	06-6792-3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談**は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は････＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒330-0038	さいたま市宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	054-285-9340	〒422-8006	静岡市曲金6-8-44
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

● 製品についてのお問い合わせは‥

お客様相談センター	東日本相談室	TEL **043-297-4649**	FAX **043-299-8280**
	西日本相談室	TEL **06-6621-4649**	FAX **06-6792-5993**

《受付時間》 月曜～土曜：午前９時～午後６時　　日曜・祝日：午前 10 時～午後５時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は‥　39 ページ記載の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

● シャープホームページ　**http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本　　　　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒739-0192　東広島市八本松飯田２丁目13番１号

Printed in Malaysia
TINSJ0140AWZZ
02G R YT ①